

令和 7年 6月 10日

中学校第1学年 国語 学習指導案

指導者 教育実習生

指導教諭

先生

1. 対象
2. 日時 令和7年6月12日(木) 第5校時
3. 場所
4. 単元名 『私のタンポポ研究』(新編 新しい国語1 東京書籍)
5. 単元について

(1) 単元の目標

- ・考えをまとめる/読む〈吟味・判断〉
- ・事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかむことができる。
- ・目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる。

(2) 教材観

『私のタンポポ研究』は、中学校学習指導要領〔思考力・判断力・表現力〕Cア「文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。」、Cウ「目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。」を主なねらいとしている。

本教材では、実験や調査の結果、表やグラフ等が多く記載されているため、データに基づいた事実と筆者の考えを区別すること、データを正しく丁寧に読み取ることを目標とし、本文とデータを照らし合わせながら情報を整理する力をつけさせることができる。また、タンポポという身近な研究の内容であることから、身近なことにも視野を広げ、幅広い分野に興味を持つことの大切さについて伝えることのできる教材である。

(3) 生徒観

本学級の生徒は、授業中の雰囲気として非常に静かで集中できている。加えて、発問に対しては積極的に答える生徒も多いため、発問の機会を増やしたり、生徒に考えさせるような内容を入れたりすると、授業がより能動的な雰囲気に進む。一方で、授業の後半になると集中の切れる生徒が若干名いるため、各自で考えさせるようなワーク等も取り入れるなど、活動方法や順序に工夫が必要である。

(4) 指導観

目的に応じて必要な情報に着目しデータを整理することで、文章の内容や構成、論理の展開などについての確に捉え、要旨や要点を把握するとともに、本文の内容と与えられた情報を関連付けながら、筆者の考え・主張を読み取る力をつけさせられるような授業展開を心掛ける。

また、学びに積極的な生徒が多いことから、まず生徒を主体としてデータを読み取る活動を取り入

れることで、能動的な活動を促したい。

6. 単元の評価規準

A 知識及び技能	思考力・判断力・表現力等			E 学びに向かう 人間性
	B 話すこと・ 聞くこと	C 読むこと	D 書くこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ア) ・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(イ) ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(ウ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(ア) ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(イ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報に着目して要約しようとしている。(ア)

7. 単元の計画（総時間 5時間）（単元の目標を達成するために指導計画を示す。）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の流れを共有する ○タイトル確認 ○めあて確認 ・データを正しく丁寧に読み取る。 ・筆者の考えと事実を区別する。 ○形式段落を確認し、クラス全体で本文の通読を行う。 ○1～3段落 カントウタンポポとセイヨウタンポポの増減について押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルと同時に筆者の情報についても触れる。 ・読みや意味が分からない語句は各自控えておくよう伝える。 ・「在来」「外来」の意味を漢字の意味から想像させる。 ・2種のタンポポの増減が<u>事実</u>であることを押さえさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(Aア) ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)

二	2	<p>○漢字テスト</p> <p>○前回の振り返り</p> <p>○3段落 仮説の内容を押さえる。</p> <p>○4、5段落 カントウタンポポが減り、セイヨウタンポポが増えた理由を押さえる。</p> <p>○6～8段落 雑種タンポポの特徴を押さえる。</p> <p>○本文を通しての大きな問いについて確認する。 「セイヨウタンポポが減って、雑種タンポポが多く生き残った理由は？」</p> <p>○次回予告</p>	<p>・「駆逐」の辞書的意味と、本文での意味を理解させる。</p> <p>・理由が調査に基づいた<u>事実</u>であることを伝える。</p> <p>・繁殖方法の対比を意識させる。</p> <p>・前段落で登場した2種のタンポポの繁殖方法とも比較する。</p>	<p>・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(Aイ)</p> <p>・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(Aウ)</p>
	3	<p>○前回の振り返り</p> <p>○9段落 実験における2つの観点を確認する。</p> <p>○10～15段落 実験1について 生徒自身にグラフを読み取らせる活動をした後、本文に戻り、照らし合わせながら内容を確認する。</p> <p>○16～18段落 実験の結果を通して、高温で発芽しなかった理由を押さえさせる。</p> <p>○次回予告</p>	<p>・2つの実験はそれぞれこの段落に書いてあったか確認させる。</p> <p>・グラフの読み取りの際は、「データを正しく丁寧に読み取る」ことを再度意識付けさせる。</p> <p>・3種のタンポポの発芽温度を比較し、性質・特徴の違いについて押さえる。</p>	<p>・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(Aイ)</p> <p>・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cイ)</p>
	4	※本時案参照		
三	5	<p>○前回の振り返り</p> <p>○配布プリント解説</p> <p>○25～27段落 配布プリントの表を踏まえて、本文全体の振り返りを</p>	<p>・本文を通して、何が筆者の考えで、何が事実であったかを改めて整理し、情報</p>	<p>・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(Aイ)</p> <p>・進んで事実と筆者の考</p>

	行う。 ○28段落 最終段落を通して、視野を広げることの大切さを伝える。 ○本文の内容をまとめる記述課題を出す。	と情報の関係を捉えさせる。 ○最後に全ての授業プリントを回収する。	えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報に着目して要約しようとしている。(Eア)
--	-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------	---------------------------------------------

8. 本時案（4時間目／全5時間）

(1) 本時の目標

二つ目の実験に関わる叙述を通して、事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。ここまでの活動を踏まえて、三種類のタンポポについて表にまとめる。

(2) 本時の展開

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 17分	○漢字テスト 各自解いた後、相互採点。 ○前回のふり返り ・繁殖方法の違い ・実験の観点2つ ・実験1から分かったこと	・生徒の漢字テストの取り組み状況を適宜確認しながら、切りの良いところで終了する。 ・復習の中で質問をすることで、ここまでの内容における生徒の理解度を把握する	
展開 30分	○19～22段落 実験2について ・1人1段落音読 ・「実験1の結果が、芽生えの生き残りやすさにどんな影響を与えているのか」についての筆者の主張について考える。 ○23、24段落 ・本文に頼らず、グラフの読み取りを行う。時間を設け、各自表に書き込ませる。 ・表に書き込み、分かった	・発問を多く交えながら授業を展開することで、常に生徒の理解度を把握する。 ・本単元の目標である、「事実と考えの区別」を意識するよう改めて呼びかける。 ・個人ワーク中は机間指導を行う。活動がうまく進んでいない生徒には適宜声掛けを行う。 ・本単元の目標である、「データを正しく丁寧に読	・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(Aウ) ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cイ) ・進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報に着目して要約しよう

	<p>ことを発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験2の結果をまとめる。 <p>○プリントを配布し、3種のタンポポの特徴について各自まとめる。</p>	<p>み取る」を意識しながらワークに取り組むよう呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う。 ・それぞれのタンポポの性質や特徴について、共通点と相違点を整理しながらワークに取り組むよう伝える。 	<p>としている。(Eア)</p>
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のまとめ ○次回予告 <p>次回は、配布プリントの解説から行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布プリントが授業中に終わらなかった生徒は家で仕上げてくるよう指示する。 	

9. 準備物等

教科書、ノート、ワークシート、国語辞書

「私のタンポポ研究」②

() (組) (番名前)

☆表を使って情報を整理してみよう。

繁殖(種をつくる)に必要な個体数	発芽の温度	カントウタンポポ	セイヨウタンポポ	雑種タンポポ
		発芽後、生き残る 1JYのときの温度 10JY		

★それぞれのタンポポの特徴について文章をまとめてみよう。